

アンケートは両面印刷です。裏もありますのでご注意ください。

カリキュラム・マネジメント チェックシート(県立学校用)【個人】

本シートを活用して、勤務校のカリキュラム・マネジメントに関わる課題、改善方法を考えていきます。まず、カリマネの基本的な実践について、よさや課題、改善方法を考えていきます。まず、カリマネの基本的な実践の状況について、ご自身の実態を評価してみましょう。下表の要素は、図(カリキュラムマネジメント・モデル)内の各要素に対応しています。「項目」は各要素を代表するような具体的な実践項目例です。4段階で評価し(よくあてはまる「4」、どちらかといえばあてはまる「3」、どちらかといえばあてはまらない「2」、ほとんどあてはまらない「1」)、「記述」欄に改善策やその他気付いたことを書き込んでみましょう。

要素 (カリキュラムマネジメント・モデル参照)	項目 (カリキュラムマネジメントの基本的な実践内容)	評価(番号を選択) 4:よくあてはまる 3:どちらかといえばあてはまる 2:どちらかといえばあてはまらない 1:ほとんどあてはまらない	記述 (その他気づいたこと、改善策)
ア、教育目標	学校全体の学力傾向その他の実態や課題について、具体的に説明できる。		
	学校の教育目標や重点目標について、説明できる。		
イ カリキュラムのPDCA	P 計画	年度当初に教育課程を計画する際、分掌、行事、授業等の評価規準や方法、時期なども合わせて計画している。	
	D 実施	学校の教育目標や重点目標を意識して授業や行事に取り組んでいる。	
		学校の年間指導計画を活用して指導を行っている。	
		各教科等の目標や内容の相互関連を意識して、日々の授業を行っている。	
	C 評価	既習事項や、先の学年で学ぶ内容との関連(系統性)を意識して指導している。	
		学校の年間指導計画の改善に役立つような記録(メモ)を残している。	
	A 改善	児童生徒の学習成果の評価だけでなく、授業の評価も行っている。	
		教育課程の評価を、次年度に向けた改善活動につなげている。	
		各種の学力テストや校内アンケート等の分析結果を参考に、対象学年だけでなく学校全体の具体的な指導方法を見直し改善している。	
		学校の授業研究の成果を日常の授業に積極的に生かしている。	

ウ、組織構造 (人、物、財、組織と運営、時間、情報など)		目指す教育活動を行うために、教員以外のスタッフ(学校図書館司書・教育支援員等)と連携協力している。		
エ、組織文化 (カリキュラム文化、組織文化、個人的価値観)		学校が力を入れている実践(特色)を具体的に説明できる。		
	⑳	自己の知識や技能、実践内容を、同僚と相互に提供し合うようにしている。		
	㉑	同僚と学級や学年を越えて、児童生徒の成長を伝え合い、喜びを共有している。		
オ、リーダーシップ	㉒	自分の担当学年・教科だけでなく、学校の教育課程全体で、組織的に児童生徒を育てていくように意識している。		
	㉓	校長が示したビジョンや方針を充分理解している。		
カ、家庭・地域、社会等	㉔	立場や役割に応じてリーダーシップを発揮している。		
	㉕	地域の人材や素材を積極的に活用している。		
キ、教育(課程)、行政	㉖	国や教育委員会主催等の研修に積極的に参加している。		
	㉗	国や都道府県が提供している資料等を積極的に活用している。		

※1. カリキュラムの面(要素ア・イ)では「連関性」に、マネジメントの面(要素ウ・エ・オ・カ・キ)では「協働性」に留意する。
 ※2. 教育課程に関する主な要素として、目標、内容、時数に加え、教材、指導方法、評価等を視野に置く。

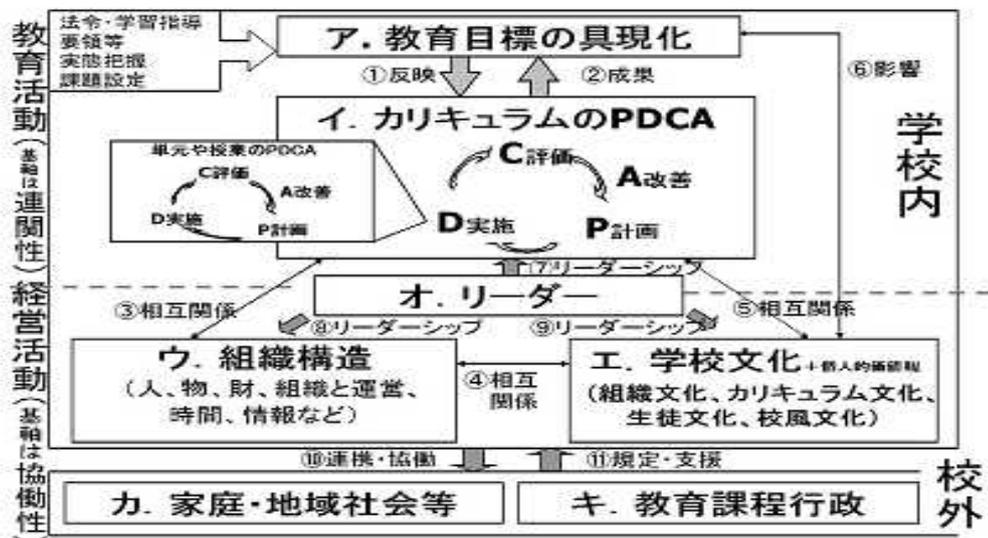


図 カリキュラムマネジメント・モデル

※本資料の出力: 前村知子・村川理弘・吉高芳正・西岡麻里 著『実践的カリキュラムマネジメントハンドブック』ぎょうせい、2016。